



令和5年度北海道旭川盲学校第3回学校運営協議会を3月8日（金）に開催しました。今回は・・・

- (1) 令和6年度の学校経営方針及びグランドデザインについて
- (2) 本校の教育活動について
- (3) 学校評価について
- (4) 今後のコミュニティ・スクールについて

の内容で開催されました。校長、教頭からの説明を行ったあと、委員の皆様からご意見をいただき、学校運営へのご示唆をいただきました。

また、今後のコミュニティ・スクールについて子ども、保護者、地域の方と一緒にできる教育活動について校長から説明がありました。



令和6年度の学校経営方針は承認されました。

令和6年2月16日 校長

令和6年度学校経営方針(案2)

学校教育目標	
自ら学び、考えを深め広げ、自らの人生を切り拓いていく子どもを育てます 令和4年4月1日改訂	
学校教育目標達成のために付けさせたい4つのC	
CHALLENGE: 何事にも挑戦する子ども	HEART 敬愛: 子どもたち一人一人の心に寄り添う取組
COLLABORATION: 仲間と共に学ぶ子ども	TEAM 敬誠: 教職員が一体となって目標達成に向かう取組
CONSIDERATION: 他者を思いやる子ども	NET WORK: 視覚障害のセンターとしての役割や地域と共に子どもを育てる取組
CREATE: 新しい価値を創造する子ども	LIFE WORK BALANCE: 自身の生活を大切に、生き生きと仕事ができるための取組
目指す学校像	
子どもたちも教職員もワクワクするよう教育活動を推進する学校	教職員一人一人が良さを認め合い、協働的・創造的に業務を推進する学校
～協力あふれ子ども・保護者・地域から選ばれる学校～	

学校経営のビジョン	
教育方針 1 学校教育目標の実現に向けて、子どもたち一人一人や地域の発展を築き、教育課程の編成・実施・評価改善のもと教育活動の質の向上に努める。 2 個別最適な学びと協働的な学びを推進するための児童生徒の実態に応じた学習指導の充実とICTを活用した教育活動を推進する。 3 物を愛護し、健康で安全に生活しようとする心身を育む人権教育及び環境・安全教育の充実を図る。 4 将来の自立や社会参加を目指す子ども一人一人の発達段階に応じた短期目標からの計画的なキャリア教育を推進する。 5 将来の自立に向けた基本的な生活習慣の確立や集団生活におけるきまりや時間を意識した態度を育てる寄宿舎教育を推進する。	経営方針 1 教職員相互の信頼関係の構築と協力・協働のもと全ての取組の質の向上に努め、それぞれの力量を十分に発揮できるような職場環境づくりに努める。 2 教職員一人一人が学校経営への使命感を持ち、自己の業務を確実に推進するよう努める。 3 各種災害や不審者対応等の実践の場を想定した訓練の実施や教育・活動・奉仕活動による危機管理意識の醸成に努める。 4 教職公務員として、命の尊厳を尊ぶの責務に責任をもち、一層規律の保持・徹底に努めるとともに、個人情報等の取扱いの注意・徹底を図る。 5 教育活動のセンター校として、地域と連携したインクルーシブ教育の推進に努める。 6 教材・教材費の削減に努め、計画的な教材や物品の購入による適切な予算執行に努める。

今年度の重点目標	
視覚障害教育の専門性に基づく自立活動の指導の充実	
令和6年度の重点	
教育の重点 ○ 地域との連携・協力 地域教育資源・地域人材を活用した学習や学校行事の一層の充実と地域に貢献する教育活動の推進 ○ 教育課程の編成・実施 子どもたちに必要な資質・能力の育成を図るため、学習指導要領や各種法令等を踏まえた適切な教育課程の編成・実施とICTを活用した授業や学習活動の充実 ○ 安全安心な学校づくり 防災・安全意識の向上を図るための防災教育の充実と心身の健康増進に向けた取り組みの推進	経営の重点 ○ 地域との連携・協力 子どもの発達段階に応じた学習や学校行事の充実や本校の教育活動を活用した地域貢献を図る取組の推進 ○ 教育課程の編成・実施 学習の基礎となる資質・能力の育成に向けた教科課程の充実とICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進 ○ 安全安心な学校づくり 各種防災災害や不審者に対応した危機管理体制の一層の構築と「いじめ対応ガイドブック・支援ツールアイコン」を活用した未然防止に向けた取組の推進

本校の教育活動について(抜粋)

畑作業



鹿児島盲学校との交流



小学部1年生

中学部全員

中学部 職場体験「UNIQLO」



舎祭



令和6年度 北海道旭川盲学校 グランドデザイン

学校教育目標
自ら学び、考えを深め広げ、自らの人生を切り拓いていく子どもを育てます

4つのC
CHALLENGE: 何事にも挑戦する子ども
COLLABORATION: 仲間と共に学ぶ子ども
CONSIDERATION: 他者を思いやる子ども
CREATE: 新しい価値を創造する子ども

目指す学校像
子どもたちも教職員もワクワクするよう教育活動を推進する学校

今年度の重点目標
視覚障害教育の専門性に基づく自立活動の指導の充実

教育方針
1 学校教育目標の実現に向けて、子どもたち一人一人や地域の発展を築き、教育課程の編成・実施・評価改善のもと教育活動の質の向上に努める。
2 個別最適な学びと協働的な学びを推進するための児童生徒の実態に応じた学習指導の充実とICTを活用した教育活動を推進する。
3 物を愛護し、健康で安全に生活しようとする心身を育む人権教育及び環境・安全教育の充実を図る。
4 将来の自立や社会参加を目指す子ども一人一人の発達段階に応じた短期目標からの計画的なキャリア教育を推進する。
5 将来の自立に向けた基本的な生活習慣の確立や集団生活におけるきまりや時間を意識した態度を育てる寄宿舎教育を推進する。

経営方針
1 教職員相互の信頼関係の構築と協力・協働のもと全ての取組の質の向上に努め、それぞれの力量を十分に発揮できるような職場環境づくりに努める。
2 教職員一人一人が学校経営への使命感を持ち、自己の業務を確実に推進するよう努める。
3 各種災害や不審者対応等の実践の場を想定した訓練の実施や教育・活動・奉仕活動による危機管理意識の醸成に努める。
4 教職公務員として、命の尊厳を尊ぶの責務に責任をもち、一層規律の保持・徹底に努めるとともに、個人情報等の取扱いの注意・徹底を図る。
5 教育活動のセンター校として、地域と連携したインクルーシブ教育の推進に努める。
6 教材・教材費の削減に努め、計画的な教材や物品の購入による適切な予算執行に努める。

<来年度に向けて>

- ・地域の方と一緒に作物は育てて、収穫したもので調理をして、一緒に食べる活動などではできないだろうか。
- ・中学部の職場体験の受け入れ先を、学校運営協議会の方に協力していただけられないだろうか。
- ・寄宿舎の活動に地域の方と一緒にできるような活動を考えてはどうだろうか。
- ・鹿児島盲学校との交流はとても素晴らしい取組なので、今後も継続して取り組んでいてもらいたい。